



小国町立小国中学校

令和 3. 12. 10 (金) No24

文責 狭間卓史



「命を守る力」

この数週間、全国的にも火災が多く、それは県内でも同様です。そういう状況もふまえて、3日(金)、全校生徒と職員とで火災避難訓練を実施しました。

今回の訓練は、阿蘇広域行政事務組合消防本部北部分署のご協力のもとでの実施でしたが、担当の太田黒教諭がこだわったのが、より本番に近い訓練にすることでした。

従来であれば、生徒の傍に職員がいる授業中に行っていましたが、今回は、授業の合間の休憩時間中に火災が発生し、傍には職員がいないという状況を想定しての訓練でした。生徒にとっては今までにない状況でしたが、そこは小国中の生徒です。落ち着いて誘導の職員の指示に従い、速やかな避難が出来ました。また、その後の初期消火訓練でも、各学年の代表生徒が、消防署の方の指示をしっかりと守った対応が出来ていたことには感心しました。

ただ、今回の訓練には実はおまけがありました。それは、消防署からの助言があつて、本校職員には事前に周知していた出火想定場所がこっそり変更されていたことです。出火場所が変更されるとそれに合わせて避難経路が変わります。今回の訓練は、本校職員にとっても今までにない対応力が求められたことは言うまでもありません。

大切な命を預かる学校だからこそ、そして大勢の人数で生活する場所だからこそ、万が一の場合の様々な状況を想定し、命を守る訓練を重ねることが必要です。これからも訓練を積み重ね、自分の命を守り、互いの命も守る力を高めていきたいと思っています。

「夢は広がる」

4日・5日に滋賀県で開催されたU-15オールスター戦に、本校ホッケー部の佐藤一麦さん、佐藤聖那さん、宮崎陽菜さんが出場しました。例年であればオーストラリアに遠征し、海外の同年代の代表チームと対戦していたのですが、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のために中止となり、その代替措置として、U-15の代表選手同士での試合でした。そのチームのコーチとして招聘された、本校の石川講師ともども貴重な経験の機会となったようです。

今夏開催された東京オリンピックには本校卒業生の北里謙治選手や穴井善博コーチが会場されましたが、今回選出された三人はもちろん、他の部員にとっても、2024年のパリ大会や、2028年のロサンゼルス大会へと夢は広がります。私も楽しみです。



【隊員の中には本校卒業生も・・・心強い】



【お見事！！的に無事命中】



【沈着冷静！！】

(※三人が着用しているのは代表ユニフォーム)



【渡邊町長への表敬訪問の一コマ】
2024年のパリ大会や、2028年の